

警備保障タイムズ

令和7年2月11日(火曜日) <第427号>

発行所 警備保障タイムズ株式会社
千160-0022 東京都新宿区新宿1-19-10
サンモールクエスト206号室
電話 03-6457-4131 FAX 03-6457-4132
E-mail : mail@kh-t.jp <https://kh-t.jp>
編集発行人 休徳克幸
月3回発行 (1日、11日、21日)
年間購読料 36,960円 (税・送料込み)

「共生社会」づくりと警備業

厚生労働部によると企業で働く障害者は87万人、2024年6月時点で過去最多となった。障害のある人もない人も安心して暮らすことのできる「共生社会」づくりは一層求められている。京都府警備協会青年部会（さい）曰く、京都府手治市の支援学校で警備の体験学習に協力した。ゼンコー（さい）たま市大宮区、勤務の「車いす警備員」濱田久仁彦（さ）は、1月7日から大阪大学で警備を開始。職業を通じた共生社会づくりのヒントが示されている。

京都府警備業協会青年部
会（安東純吉部会長）新京
都パトロール）は、府立宇
などの説明を受けた生徒た
ちは、金属探知機を使って
身体検査を体験した。

京都警協青年部会は、2019年に滋賀県立北大津養護学校で警備体験学習を初めて実施。障害のある生徒へ警備業の理解促進に向けて今回授業に協力した。

宇治支援学校高等部生徒からの質問と、京都警察青年部会員の答えは次のとおり。

Q・警備員さんの仕事は何時から何時までですか。

A・昼も夜も24時間、順番に交代しながら地域の皆さんの安全安心を守っています。暑い日も寒い日も365日、警備は世の中になくてはならない仕事です。

Q: 警備員の仕事に必要なことは何ですか。

A: 歩行者や車を運搬している人、安全な通行に協力してくれる人たちに「ありがとう」と言いたいです。お礼を言う気持ちで謙虚な人が大切ですね。

Q: 仕事をしても「危ない」と感じることば。

A: 正直ありますが、危険が起これないよう気を付けて他人と自分の安全を守っています——

「参加した生徒の中に、ショッピングモールの駐車場で安全を守る警備員さんを見て『カッコいい』と憧れている生徒がいて、『願っている生徒がいて』かなった」と喜んでいました」と話した。

安東副会長の話　生徒さんの真剣さに心を打たれました。警備員の仕事に対する理解や憧れが、より多く

の方々に広がることは嬉しい、青年部活動を重ねていきたい。
(都築孝史)

京都警協青年部会

支援学校で体験学習 片側交互通行の誘導

高等部の生徒4人（1年生2人、2年生2人）に向けて青年部会員は、警備の仕事内容を親しみやすく説明。生徒からの質問に答えた（別稿）。

交通設備整備に力を入れているのは、校内の廊下だけでなく、コートを置いて工事現場を設けし、片側交互通行を行った。誘導灯やハンドシールドの扱いの手ほどきを受けた生徒たちは、工事現場の両端に分かれた「こちら」「通過」「こちら」を通して「行きか」と練習。安全な誘導を疑似体験した。

教務で、施設整備における窓の施錠点検



交通誘導警備を体験した